

# NEWSLETTER

## 介護特集 ～介護導入講習～

介護実習生の増加に伴い、昨年7月に介護導入講習用の教室を新設しました。様々な国から来た実習生たちは、国籍を超えて切磋琢磨し、介護施設での実習に向けて頑張っています！

### [介護導入講習のカリキュラム]

介護の日本語	食事の介護
介護の基本	移動の介護
コミュニケーション技術	衣服の着脱の介護
排泄の介護	入浴・身体の清潔の介護



## 介護特集 ～介護実習生の声～

4月に入国したインドネシア、ベトナム、ミャンマー、フィリピンからの介護実習生たちの声をご紹介します。日本を選んだ理由、介護職を選んだ理由、介護講習で難しいこと、将来の目標についての率直な意見や感想です。

### 1 日本を選んだ理由

- 「日本の先進的な**介護技術**を学びたい」
- 「日本の**文化**や**働き方**を学びたい」
- 「安全な日本で、勤勉な日本人と**一緒に働きたい**」
- 「ベトナムでは得られない**新しい経験**をしたい」
- 「日本で働き、**貯金**したい」

### 2 介護を選んだ理由

一番多かった意見は、「**将来は両親や祖父母のお世話をしたいから**」でした。さらに、「**困っている人を助けることができるから**」や「**ベトナムでも将来的に介護の必要性が高まるから**」などの意見もあり、介護の重要性や他者を助ける喜びの強さを感じました。

### 3 介護の学習で難しいこと

1. 介護の**専門用語**や**漢字**の理解
2. 介助方法の**知識**や**技術**の習得  
(食事、移動、排泄、入浴の介助など)
3. 利用者の**個々のニーズ**への対応  
(高齢者の心理や文化の理解)
4. **言葉の壁**と**コミュニケーション手法**



実習生からは、異なる言語、文化、年齢を持つ利用者とのコミュニケーションに不安を抱く声が多く寄せられました。その一方で、日本語や介護の学習に前向きな姿勢を持つ意見があり、自身の課題を理解し、真剣に学習に取り組んでいる様子が伺えました。

## 4 将来の目標

多くの実習生から「帰国後に**介護施設を立ち上げたい**」という意見がでました。また、「**N2合格!**」「**介護福祉士合格!**」「**日本での仕事を頑張る!**」や、帰国後に「**家建てる**」「**子供に留学をさせる**」という声も聞かれました。明確な目標を持ち、それに向かって努力していることが伺えます。



## お知らせ

### 技能実習生手帳について

空港で「実習生手帳」が配布されていないことがあります。本来、在留カードと一緒に配布されますが、ダウンロード版の案内書のみ配布ということがあります。実習生手帳には重要な情報が記載されており、また**法的保護講習**で使用します。そのため、以下の点において、送付機関等を通じて実習生にご案内いただけますようお願いいたします。

- 日本到着時に在留カードと一緒に実習生手帳も受け取る
- 実習生手帳が配布されなかった場合は、「実習生手帳をください」とその場で伝える

当学院では、空港出迎え時に手帳の確認をし、受け取っていない場合は、空港内で取り寄せの手配をしていますが、上記ご協力いただけますと幸いです。



## お知らせ

### 建設系特別教育のスケジュール

講習内容	講習日	料金(税込)*
足場の組立等作業従事者	5月30日(木), 6月20日(木), 7月10日(水)	9,900円
フルハーネス型墜落制止用器具	5月31日(金), 6月21日(金), 7月11日(木)	9,900円



\* 足場とフルハーネスの両方を受講する場合の受講料は**16,500円(税込)**となります。

## 日本語教師コラム

### 「ふ」はふしぎな音

会話の最中にたびたび舌打ちをしていたら、きっと相手に不快感を与えるでしょうし、注意されることもあるでしょう。また、子どもが口の中で舌をはいて音を出していたら、時と場合によっては厳しく叱られるはず。

ただ、この「舌打ちの音」や「舌をはく音」が、日本語の「あ・い・う・…」のように、コミュニケーションに必要な「音」として機能している言語も存在します。これらの音は「吸着音(きゅうちゃくおん)」「(歯茎吸着音(しけいきゅうちゃくおん))」や「硬口蓋吸着音(こうこうがいきゅうちゃくおん)」などと呼ばれ、アフリカの複数の言語で用いられています。

また、イタリアやスペインのサッカーの実況などで、巻き舌を駆使して話す様子を見てみると、意味は分からないながらも「こんなふうにはしゃべって疲れないのかな?」と思うこともあります。ちなみにこの「巻き舌」の音は、音声学の分野では「歯茎(しけい)ふるえ音(おん)」と呼ばれています。しかし、これらの発音を「変わっている」とか「珍しい」などと思うのは、あくまでも日本人の視点に立つからこそ抱く感想であって、実は逆に外国人からは、「日本人ってこんな音を使って会話しているのかよ!」と思われる音というものも存在します。

その代表例が「ふ」です。

日本語の「ふ」は、英語の「F」とも「H」とも異なる音で……続きは [ホームページ](#) をご覧ください。



国際アカデミー日本語学院 取手校

<https://kokusai-academy.com/toride/>

〒302-0023 茨城県取手市白山3-2-29

TEL 0297-77-4455 FAX 0297-77-4456